

小学校 高 学年< 5・6— (10) >

学年	5年 6年	時間	学級活動「防災かるた作り」 学級活動 or 児童会活動(全校の場合) 「みんなで遊ぼう かるた大会」	時期	12月 1月	時数	かるた大会 1時間(45分)
目標	「かるた作り」をしたり「かるた取り」を友達と一緒に楽しく遊んだりすることにより、防災知識を身につけることができる。						
資料・準備	総務省消防庁「チャレンジ防災48」の読み札と取り札、or 学校独自に作成したかるた(作成する場合は読み札・取り札の台紙、マジックや絵の具等の用具)						

<かるた作り>

○ 学校独自に「防災かるた」を作成する場合

- ・ 短学活や家庭での宿題で「防災かるた」を学級や学年の人数で割り、「読み札」「取り札」を作成する。学年人数が少ない場合は、5・6年合同で作成してもよい。
- ・ 全校で取り組む場合は、学年に割り当てられた分について、班で話しあいながら協力して作成したり、参観日に参加型で、いくつかの班に分かれて親子が一緒に話しあいながら協力して作成したりするのもよい。
- ・ いずれの場合も、大判でも小判でも作成可能だが、統一した台紙にする必要がある。

<実践例> 倉吉市立高城小学校 平成23年度 日曜(地域ふれあい)参観日(12月)の実践から

- 全校児童・教職員・保護者・地域住民が体育館に集まり「防災かるた作り」。
- 台紙(絵札・字札に頭文字を貼った色紙)計92枚(46文字×2)とマジック等の筆記用具を準備。(導入)「もしも 地震が 起こったら」スライドで災害時や準備について学ぶ。(講師 鳥取大学)
- (展開) 家族や近所の方等と相談・協力しあって、割り当てられた文字のかるた文言(字札)作成。字札にあわせて絵札を作成。
- (まとめ) できあがった「防災かるた」を、みんなに披露(読み上げ、提示)する。
・・・時間が許す限り披露させ、参加者の意識向上を図る。



(発展) 後日、完成した「防災かるた」を使用して、「全校かるた大会」(1月)を実施。

○ 「チャレンジ! 防災48」の防災かるたを活用する場合

- ・ 短学活や家庭での宿題で「防災かるた」を学級や学年の人数で割り、一人が1~2枚「取り札」を作成する。学年人数が少ない場合は、5・64年合同で作成してもよい。
- ・ 全校で取り組む場合は、学年に割り当てられた分について、班で話しあいながら協力して作成したり、何組か作成したりするのもよい。

<かるた大会>

- 学級の人数に合わせて、班で(小かるた)、学級全体で(大かるた)等、誰もが楽しんで防災の知識を学びながら遊べるよう工夫する。
- 「大かるた」は、「小かるた」を拡大コピーして、厚紙に貼り付けたものを準備する。
- 「小かるた」で遊ぶ場合は、必要な部数、コピーして厚紙に貼り付けたものを準備する。
- 大会前、大会後に、休憩時間等を利用して遊ぶ場合や、帰りの会の時間等の短学活を利用する場合などのために、数部、学級に常備しておくこともよい。
- 全校で取り組む場合、何組も印刷して作成し、全校での「かるた大会」を行うのもよい。
<学年ごと、縦割り班対抗、など、方法を考えるとおもしろい。>

関連する 教科・領域等	
協力団体	